

採用戦線

▷12◁

自動車向け事業では点火コイルやオンボードチャージャー、DC/DCコンバーターなど、内燃機関車から電動車までのさまざまな部品を手がけている。2021年度は、社内構造改革が最優先事項だったため、新卒の採用活動を抑え気味としたが、23年卒では新卒採用を強化する。技術系人材獲得が厳しくなる中、独自の戦略で人材確保に動く。空本豊常務執行役員に現在の採用市場や今後の取り組みを聞いた。(藤原 稔里)

「21年度に点火コイルなど



空本豊常務執行役員
2021年度に点火コイルなど
の部品を手がけていた。

ダイヤモンドエレクトリック
ホールディングス

クリーンエネルギーとEV訴求

若手人材確保が課題

てきた。このため、十分に新卒を採用できなかった面がある。インターンシップを通じて学生と接触し、採用につなげる

る。22年4月入社では、リファラル採用を用いて技術職としてイラン人1人のみを採用した。例年10〜15人、技術職を中心に採用している。新卒採用では、

空本 豊 常務執行役員

「自己成長ができるか」と、社会貢献をかなり重視している印象だった。現在、ESG(環境・社会・ガバナンス)はほとんどの企業が注力しているため、訴求ポイントとしては少し弱いかもしれない。処遇は標準レベルだが、大手企業と天秤にかけられるとかならず、学生が(大企業に)流れてしまう」

「採用の母数をどのように増やしていくのか」「自動車機器とエネルギー関連を手がけていることから

「車と家を、ものづくりでつなぐ」を軸に事業展開している。クリーンエネルギーと電気自動車(EV)という、世の中の2大トレンドにかかわれる仕事ができることを訴求し、将来性や仕事内容などを発信することで魅力を感じてもらいたい。(本社管理部門)

「他社からのベテラン社員の採用も増やしている」「大手企業で役職定年を迎えた人を採用している。半導体関連の技術者などが20数人入社するなど、実績があがっている。ウエルカムバック制度と同様、即戦力になる人材だ。ただ、各事業部の担当者は若手が多い。新卒の人材確保に注力している中、(即戦力となる)若手人材の確保が課題になっている」

(おわり)